

# 万願寺地区の田舎風情を活かしたまちづくり

NPO法人原始人の会

理事長 ○池田 孝一 上坂 喜一 国田 良一

## 1. 活動方針・目的

一般市民に対して地域の活性化に関する事業を行い、豊かで住みよい地域づくりに寄与する事を目的とする。

## 2. 活動内容

地元の人は「な～んも無いところや！」と言います。都会から来られたお客様は「枯れ葉の舞う音が聞こえるなんて 最高の贅沢！」と仰います。

一見何も無い山あいには炭焼窯を造ってから10年超、奇妙な名前の奇妙なイベントを重ねに重ね、地元の人でも誰一人訪れる事のなかった地に年間1万人近いお客様が ①濁酒を求め ②猪・鹿肉や田舎料理に故郷を求め ③古民家を改修した2軒の「田舎暮らし体験施設」へ癒しを求め ④「田舎体験男女ふれあい交流会」へ田舎男性との出逢いを求め ⑤放棄田を復活させた「幸せ食材づくり隊」へ食の安全・安心を求め、また、趣旨は違うが ⑥活動状況の視察等・・・にと全国・各地から色々なお客様にお越し頂けるようになって来ました。

一方、3年越しで取組んで来た高齢者の足を守る公共交通問題も、コミバスの事業運営を加西市から受託する事が決定し、平成23年2月1日に開業出来る運びとなり、現在の一週6便から一日6便へと交通の便を飛躍的に向上させ、引こもりがちの高齢者が自分で自由に行動が出来る喜びを実感頂く事により、高齢者は元より現役の若者への支援が図れるものと確信しています。

また、現状ではマイカー以外当地へお越し頂く術はありませんが、バス運行により、公共交通を利用した市内全域や都市部のお客様の集客にも弾みが付くものと期待しています。

## 3. 他の活動団体の参考となる事例

平成14年～17年に掛け、お風呂、大舞台、木造瓦葺の作業所及び物置等、を多くの職人等のボランティアにより建設しこれらを使ったイベントを次々に実施していたが、ある日、違法建築だから全て解体し更地にするよう県・市からの命令を受けた。土地は元水田で農地転換等の手続きが出来ていなかった為で八方掛け合ったが、結局は全員涙の取り壊しとなった。

しかしその後・・・

## 4. 今後の課題等

山ほどありますが「2020年我が地域の雄姿」（将来への青写真）に向け、ただ一歩ずつ頑張るのみです。

兵庫県加西市  
上万願寺町120

**原始人会**  
(NPO法人原始人の会)



活動の切欠となった  
炭焼窯「万願寺窯」  
H12年10月

手作り風呂



7m×14mの舞台



活動が現在まで継続している転機となったイベント 900余人を集客





原始人会収入源の一翼を担っている



# 地元産野菜やしし肉、シカ肉…

**原始人会3番目の収入源**

開店した「土一七日屋台」でぼたん汁を調理するメンバーら（加西市上万願寺町）

## 加西に農家レストラン





どいなか  
まちおこしグループ開店 名は「土一七日屋台」







里山の中腹に昨春完成させたログハウス風の活動拠点「交流館」で開業した。初日はメンバーの知人が家族連れで訪

**村の若者が夢中で取組んだ3ヶ月**

劇「女切ろまん」上演





女切峠



女切池







男女ふれあい交流会「田んぼでデート」

平成19年11月25日 田舎体験ふれあい交流会(二回目) 模様



3組がG



はっぴーバスの誕生 H23.2.1 スタート

